

2024 年 11 月 26 日

ディップ株式会社

安心・安全なアルバイト連絡、ストレスのないシフト調整を アルバイトコミュニケーションアプリの新常識「バイトルトーク」先行開始

ディップ株式会社（以下「当社」）は、株式会社アイリッジ（東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）と共同で、店舗管理者とアルバイト従業員のコミュニケーションを改善する新サービス「バイトルトーク」（以下「本サービス」）を開発し、本日よりサービスを先行開始しました。



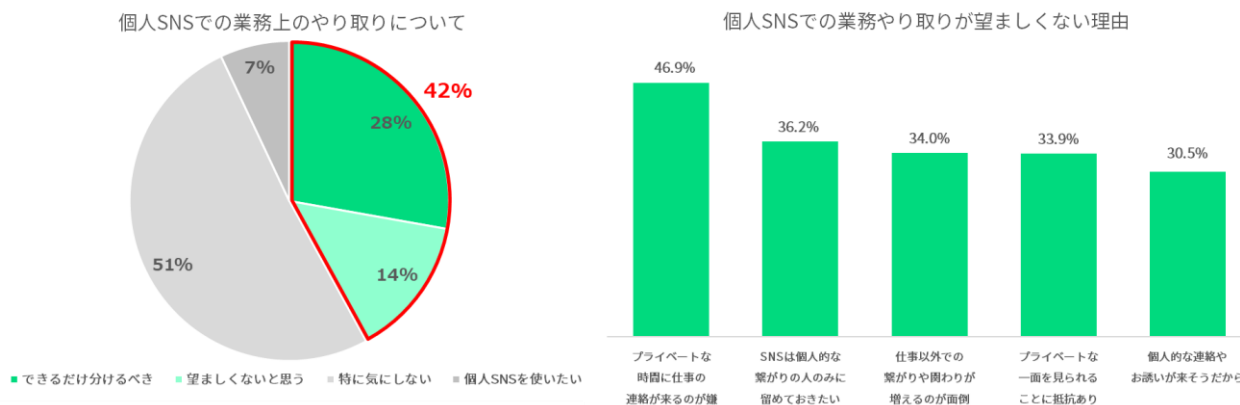
2024 年 9 月に厚生労働省が発表した労働者過不足判断 D.I.では、パートタイム労働者の人手不足は+29 ポイントとなり、2009 年 11 月以降、60 期連続で人手不足が続いています。特に、「宿泊業、飲食サービス業」「サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」で深刻な状況となっています。

そのような中、アルバイトと店舗のコミュニケーションツールとして私用 SNS を利用していることが多く、両社の調査では、アルバイト従業員の 42%、店舗管理者側の 49%がその現状に課題を感じていることがわかりました。（※1）特にシフト調整は煩雑で、そのコミュニケーション方法に本質的な課題があります。そこでコミュニケーションにおける課題を解決すべく、当社とアイリッジは「バイトルトーク」を開発し、本日より先行開始しました。来春には「店舗掲示板」や「シフトの調整」など機能を充実させ本格的な展開を予定しています。本サービスを通じてコミュニケーション課題を解決し、誰もが働く幸せと喜びを感じる社会の実現に努めてまいります。

（※1）ディップ総合研究所「個人 SNS で「つながらない権利」ーアルバイト・パートの場合ー」：<https://dip-soken.com/work/RctxwZkQ>

■アルバイト従業員からみた個人 SNS 利用の課題

アルバイト従業員の 42%が個人 SNS での業務上のコミュニケーションを問題視しており、その理由は「プライベートな時間に仕事の連絡が来ることを避けたい」「SNS は個人的なつながりにとどめておきたい」等があげられます。



■店舗管理者側からみた個人 SNS 利用の課題

店舗管理者側の 49%が個人 SNS での業務上のコミュニケーションを課題視しており、「情報漏えいやハラスメントなど各種リスクについて」「プライベートと業務の混在」「シフト調整のやりとりの手間」等が課題としてあげられます。

1

各種リスク対策

情報漏洩やハラスメント対策
ができない状態にある



- ・ バイトテロ等の情報拡散
- ・ 退職者にもトーク履歴が残る
- ・ ハラスメント対策・検知が不可

2

個人SNSの限界

プライベートとバイト連絡が混在し
アルバイトも店長も困る



- ・ 連絡先交換の強制・強要
- ・ ニックネームで人物認知が困難
- ・ 休日や深夜の通知のストレス

3

シフト調整で疲弊

シフト調整のやり取りの手間
が膨大で店長が疲弊する



- ・ シフト提出が各自バラバラ
- ・ 各個別へのシフト調整連絡
- ・ シフト提出の見落としや転記ミス

■「バイトトーク」について

本サービスは、アルバイト従業員と店舗管理者のコミュニケーションを改善するバイトコミュニケーションアプリで、安心・安全なアルバイト連絡、ストレスのないシフト調整を行えるプラットフォームを提供します。

▼先行導入事例（一部抜粋）（※2）

AlpenGroup

**OIZUMI
FOODS**
IN FOOD WE TRUST

SCHMATZ

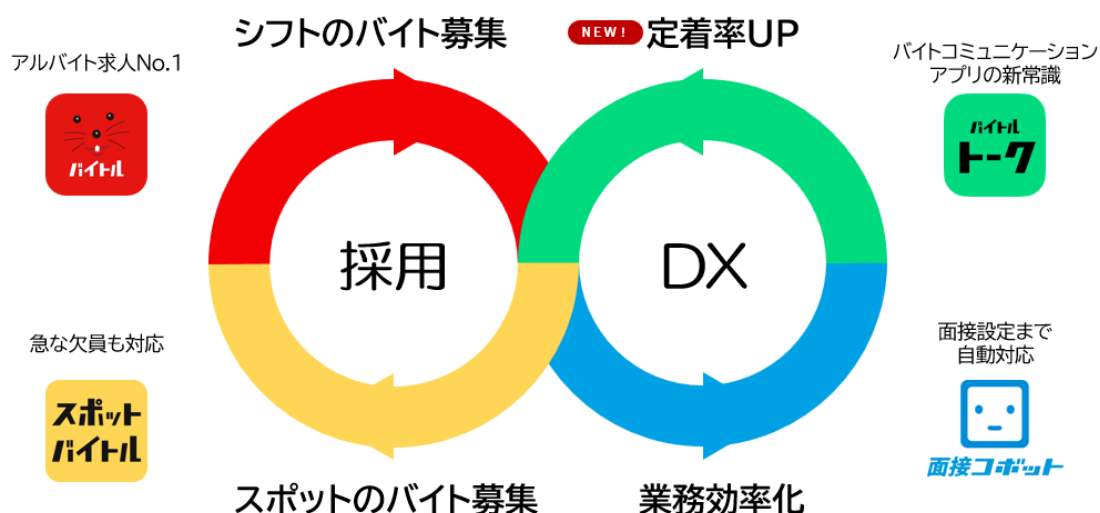
flat field operations

**Wendy's
First
Kitchen**

（※2）現在はテスト導入中となります。

■労働市場の諸課題を解決するディップ

日本最大級のアルバイト・パート求人情報サイト「バイトル」を運営する当社は、ユーザーファーストというフィロソフィーに基づき、スポットワークで優良な働きをする方の待遇を引き上げていくため、日本初の独自機能「Good Job ボーナス」を搭載したスポットのバイトサービス「スポットバイトル」を本年10月より開始しました。また、人手不足や業務効率に課題を抱える業界・業種での定型業務を自動化する DX サービス「ロボット」シリーズを展開しております。この度の「バイトルトーク」開始により、アルバイト従業員と店舗管理者側のコミュニケーションを改善し、労働市場における諸課題の解決につなげてまいります。



■「ストレスフリーな従業員体験」をアプリテクノロジーで支えるアイリッジ

「店舗の予約はスマートフォンのアプリで行うことが増えた」と回答する人が6割を超える（※3）など、購買や予約などの生活行動におけるアプリのインフラ化が進行しています。一方業務システムと言え、消費者向けと比較してユーザーフレンドリーとは言い難いものが一般的でしたが、そのような中で従業員にも「アプリによる体験の向上」を提供し、DXによる生産性向上を目指す企業が増えています。「バイトルトーク」は、企業の公式アプリ（消費者向けアプリ）の豊富な支援実績を持つアイリッジがテクノロジーパートナーとして取り組むことで、使う人のリテラシーを問わず直観的に使えるインターフェースを実現しました。今後も顧客体験（CX）領域から従業員体験（EX）領域まで、アプリを通じてすべての人の便利な体験を実現してまいります。

（※3）出典：博報堂DYメディアパートナーズ「メディア定点調査2024」

■株式会社アイリッジについて

株式会社アイリッジは、企業のアプリビジネス支援とビジネスプロデュース支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

アプリビジネス支援では OMO*アプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけたアプリの月間アクティブユーザー数は国内最大級の 9,000 万超。開発から機能拡張、マーケティング施策まで行えるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」が主力プロダクトです。

*Online Merges with Offline：オンラインとオフラインを統合したマーケティング

ビジネスプロデュース支援では、アプリに限定しない、コミュニケーションデザインの戦略立案からデジタルとリアルを統合した施策の企画・実行までを支援可能。グループ会社の Qoil と連携し、プロデューサーとプランナー、クリエイティブディレクター等から成るチームで、“点”の相談を“面”の課題解決に導く独自の価値提供を行います。総合電機メーカーや金融サービス事業者、電気通信事業者等、業界トップ企業の幅広い実績を持ちます。

URL：<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。

当社概要

労働市場における諸課題を解決し、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指す“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、人材サービス事業と DX 事業を運営しています。企業理念「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社（dip Corporation）

代 表： 富田 英揮（代表取締役社長 兼 CEO）

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997 年 3 月

資本金：1,085 百万円（2024 年 2 月末現在）

従業員数：2,964 名（2024 年 4 月 1 日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：人材サービス「バイトル」「スポットバイトル」「バイトル NEXT」「バイトル PRO」

「はたらこねっと」、看護・介護業界の転職支援サービス「ナースではたらこ」「介護ではたらこ」

などの運営、DX サービス「コボット」の開発・提供、他

売上高：537 億円（2024 年 2 月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

【本リリースに関するお問合せ先】

ディップ株式会社 広報部

お問い合わせ先：<https://campaign.jp/dip/contact>